# 令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

| | |
|---|---|
| 助成団体 | 公益財団法人全日本スキー連盟 |
| 事業細目名 | タレント発掘・一貫指導育成 |
| 事業名 | タレント発掘育成国内合宿及び海外遠征 |
| 助成金額 | 128,000,000 円 |

令和６年度将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成を活用し、公益財団法人全日本スキー連盟が実施する「タレント発掘育成国内合宿及び海外遠征」の実施状況調査を行いました。

本事業は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日の期間、才能のある若い選手を発掘し、育成プログラムに基づいて、世界で活躍するトップアスリート、心技体智が充実した選手を育成する活動に対して支援を行うものです。

今回調査を行った「第 3 回 FSMO 合宿」（FSMO：フリースタイルモーグル）では、育成世代の選手を対象にモーグルのエア練習を行っていました。選手たちはジャンプを飛ぶごとにコーチが撮影した映像を確認し、繰り返しエア練習をすることで技術を磨いていました。

■助成の意義

本助成を活用することにより有望な選手の発掘・育成を目的とした合宿を 1 年間通して実施することが可能となり、今年度は雪上合宿を含めた国内合宿 4 回の実施に加え、海外遠征が 1 回計画されているそうです。その結果、オリンピックをはじめとした国際競技大会で活躍する選手も輩出されており、本事業の認知向上にも繋がっているとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

本事業の活動内容を参加した選手だけでなく所属しているチームのスタッフや選手等に対して共有することに加え、連盟 HP やモーグルチームの SNS 等を活用し、積極的に発信することで多くの人に幅広く周知する取り組みを行っているそうです。

■所感

調査当日は本事業の合宿だけでなく、ワールドカップ出場予定選手を対象とした合宿も同時開催しており、育成世代の選手がトップ選手のエアを見ることにより技術面はもちろん、競技に対する意識の向上にも繋がり、本事業の目的である「心技体智が充実した選手の育成」に向けて好影響があった様子も伺えました。本事業に参加した選手のさらなる活躍と本事業が競技力の向上と裾野の拡大に助成金が活用されることを期待しています。

（令和 6 年 10 月 3 日往査）

（写真）合宿の様子



